

2-7.2_2

2) 見学旅行

1 物質生命化学科

卒業研究に着手する前の工学系三年生が、実際の化学系工場を見学することにより、化学と企業、工業製品と環境リサイクルについて実際に目で見て学び、見識を広げることを目的として、学部3年生による工場見学を平成30年10月4日(木)～5日(金)に実施した。引率は、高藤誠准教授(3年生担任)、坂田眞砂代准教授、西山勝彦准教授、渡邊智助教(3年生担任)およびの計4名で担当した。

当学科の工場見学では、1泊2日で北九州あるいは南九州の化学系企業、電気・機械系企業、食品関連企業を訪問し、民間企業等の工場見学を実施している。今年度は、福岡、熊本、大分の企業を2つのコースに分かれて見学するように企画した。学生は16班に分かれて、しおり作成、報告書作成等を担当し、見学当日は班ごとに希望のコースで工場見学に参加した。第1日目の見学後には全員そろって大分リーガルホテルに宿泊し、相互の情報交換や意見交換などを行うことにより学生間の交流も行われた。

訪問先では、各企業の担当者から会社概要の説明と施設・工場の案内・説明をしていただき、学生からの質疑にもご対応いただいた。参加した学生は、質問をしたりメモをとるなど熱心に見学している様子であり、訪問先の企業各社からの評価も高かった。工場見学にご協力いただいた各企業の関係者の方々にお礼を申し上げるとともに、今回の経験が学生にとって今後の学生生活や進路決定に活かされることを期待する。

日時:平成30年10月4日(木)～10月5日(金) 1泊2日

対象学年および参加学生数:学部3年次生 79名(参加予定80名のうち、1名欠席)

引率教職員数: 4名

見学先:

(Aコース)

- ◎ 三井化学(株)大牟田工場
〒836-8610 福岡県大牟田市浅牟田町30番地
- ◎ 新日鐵住金大分製鐵所(株)
〒870-0992 大分県大分市大字西ノ洲1番地
- ◎ (株)ジャパンセミコンダクター
〒870-0125 大分県大分市大字松岡3500番地
- ◎ (株)旭製作所
〒864-0025 熊本県荒尾市高浜1978

(Bコース)

- ◎ (株)同仁化学研究所
〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原2025-5
- ◎ 新日鐵住金大分製鐵所(株)
〒870-0992 大分県大分市大字西ノ洲1番地
- ◎ (株)ジャパンセミコンダクター
〒870-0125 大分県大分市大字松岡3500番地
- ◎ デンカ(株)
〒836-8510 福岡県大牟田市新開町1

2 マテリアル工学科

マテリアル工学科では毎年、学部3年生を対象として、学生個人がこれまでに修得した専門教育をさらに意義深いものにするために、材料に関連する企業工場見学を実施している。本年度は岡山～京都東圏内で生産活動を行うメーカー5社に事前に見学を依頼し、3日の日程で訪問した。それぞれの見学先では、現場の職員や卒業生の方々より懇切丁寧な説明を受け、また参加した学生からは積極的な質問があり、大変有意義な見学旅行が実施できた。

日程：9月19日(水)～9月21日(金)

対象学年及び参加学生数：学部3年生47名

引率教職員：3名(小塚敏之、橋新剛、志田賢二)

日程及び見学先：

9月19日(水) 午後 黒崎播磨株式会社(備前工場[岡山県備前市])

9月20日(木) 午前 フィガロ技研株式会社(研究所[大阪府箕面市])

午後 日本ルツボ株式会社(大阪工場[大阪府東大阪市])

9月21日(金) 午前 京セラ株式会社(中央研究所[京都府相楽郡])

午後 新日鐵住金株式会社(尼崎製造所[兵庫県尼崎市])

3 機械システム工学科

実施なし

4 社会環境工学科

平成30年9月21日(金)、二年次学生を対象とした現場見学を実施した。土木現場における雰囲気を感じ、座学で学習した知識の定着を図ることが目的である。今回は福岡県朝倉市の寺内ダムと九州北部豪雨復興現場を中心に見学した。行程は下表のとおりである。

午前中に訪問した寺内ダムでは、ダムの構造や役割について学んだ。九州北部豪雨時に寺内ダムが果たした役割はきわめて大きく、綿密な計算によって貯留量をコントロールすることで下流の氾濫を食い止めていたことを理解した。また、ダム堤体内の監査路も案内していただき、ダムの内部構造について知見を増やすことができた。昼食時には全国的に有名な三連水車を見学した。午後に訪問した赤谷川下流現場および乙石川現場では、平成29年7月に発生した九州北部豪雨により甚大な被害を受けた河川流域の復興工事現場を見学した。災害のメカニズムや復興工事の流れについて国土交通省九州地方整備局の職員(当学科OB)から説明を受け、自然の脅威を実感するとともに土木事業の重要性について学ぶことができた。山田堰については、時間とバス駐車場の都合上ゆつくりと見学することはできなかったが、資料を通じて先人による優れた土木遺産の存在とその機能について知識を増やすことができた。

本研修は、学生にとって現場の状況を深く学べる貴重な機会となり、今後の学習意欲の向上につながることを期待される。

日 時	行 程
9/21 (金)	集合 熊本大学====寺内ダム====昼食(三連水車の里あさくら)==== 8:00 8:10 発 10:10—11:30 12:00—13:00 =赤谷川下流現場====乙石川現場====山田堰====熊本大 学 13:45—14:30 14:45—15:30 16:00—16:10 18:00 着

平成 31 年 3 月 15 日に阿蘇市の国道 57 号線滝室坂で国土交通省が進めるトンネル工事の現場見学会を実施した。参加者は土木建築学科，土木建築学専攻の学生 7 名(留学生含む)，引率教員 2 名であった。見学はトンネルの掘削現場見学だけでなく，安全かつ正確掘削する技術紹介，工事車両や作業員の動きを監視データやヘルメットや腕に装着した生体データを元に作業員の安全管理・体調管理を行う技術についても説明を受けた。日程の都合で少人数の見学会となったが，その分一人一人丁寧に質疑をいただき今後の学習意欲の向上につながったと期待される。

日 時	行 程
3/15 (金)	集合 熊本大学====滝室坂トンネル====熊本大学 解散 11:50 12:00 発 14:00—16:00 18:00 着

5 建築学科

実施なし

6 情報電気電子工学科

平成 30 年 9 月 19 日に九州コース，および 9 月 20 日～21 日に関西コースにおける企業見学旅行を実施した。

まず九州コースにおいては北九州地区 3 社の訪問し，当学科においては 3 年生 27 名が参加し，福迫教授(3 年担任)，岡島准教授(3 年副担任)，須恵氏(技術部)と松田氏(技術部)で引率した。

トヨタ自動車九州では，本学大学院で機械を学んだ OB より設計職についての具体的な話があった，その後は生産ラインの見学させていただき，自動車製造に関するあらゆる部分について深く学ぶことができた。次に，ゼンリン株式会社においては，自動車の運転者の立場からの地図作りに関する話を聞くことができた。地図作成には実車走行による細かいデータ収集が不可欠であり，そのために関連する技術の話聞くことができた。最後に TOTO 株式会社においては，本学科出身の OB 始め数名の社員の方々に迎えられ，会社の業務内容について本学科に関連した技術の話を交えながら聞くことができた。さらに TOTO ミュージアムを見学することができ，同社の歴史や活動内容を知ることができた。

関西コースには当学科3年生8名が参加し、福迫教授(3年担任)、宮内准教授(3年副担任)が引率した。まず、1日目に最寄り駅に集合し、住友電工(大阪市此花区)を見学した。業務内容の説明や電力配電用ケーブル等の作成工場の見学を行った。昼食後にパナソニック(守山市)のワンダーラボを見学した。同社と外部の方々とのコラボレーションでイノベーションをめざす新しい業務形態について見学することができた。2日目はオムロン(滋賀県草津市)を見学し、制御技術を駆使した製造機器の見学を行った。午後からは、三菱電機京都製作所(京都府長岡京市)にてAV機器等の製造にまつわる話や製造現場の話の聞くことができ、その後村田製作所本社(京都府長岡京市)の見学では、チップ部品に関する話を聞き、本社内の見学をさせていただいた。

いずれのコースや企業においても、学生たちは積極的に質問をしており、その内容は業務内容から進路選択に関する内容と多岐に渡っていた。本研修では、日ごろ学生が座学等で学ぶ電気電子工学技術、情報工学技術が、実際の製品や社会システムの一つとしてどのように形を成し、運営・管理されているかを具体的に聞くことができた。また、本学科の卒業生や同じ分野の学科出身者にも多く出てきていただき、技術者の声を聴くと同時に、進路選択のアドバイス等を頂く貴重な機会となり、今後の学習意欲の向上と進路設計、キャリアパス構築の大きな助けになるものと期待される。

7 数理工学科

実施なし